

子どもたちに 核兵器のない世界を

核兵器廃絶めざす
全教メールニュース

第44号 2010.7.29.

原水爆禁止世界大会の開会総会で 全教から愛知高教組の青年がNPT報告

世界大会の開会総会で、愛知高教組の青年、森崎裕美子さんがNPTニューヨーク行動に参加した青年を代表して報告に立ちます。森崎さんは、愛高教の青年7名を含む11人の代表とともに4500筆の署名を集め、生徒や教職員に折ってもらった折り鶴を持ってニューヨークに行き、タイムズスクエアでの署名行動、ピースパレード、世界青年のつどいに参加したこと、帰国後の報告活動に活発にとりくんでいることなどを発言します。壇上には、ともにニューヨークに行った青年や愛高教の組合員が横断幕や寄せ書きを持って並びます。

ニューヨーク行動の成果をみんなの確信に、核兵器完全禁止の国際条約締結を核保有国に迫る次の運動をスタートさせる歴史的な世界大会です。青年のNPT報告に期待が集まっています。

核抑止は幻想、唯一の方法は廃絶！
バジキヤ
潘基文国連事務総長が広島会議にメッセージ
 核軍縮・廃絶は夢だと片付けられることが多いが、核兵器が安全を保証するとか、一国の地位や威信を高めるとかいった主張こそが幻想だ。安全を保証し、核兵器の使用から逃れる唯一の方法は、それを廃絶することだ。私は、すべての指導者、特に核兵器国の指導者に対し、広島と長崎を訪ね、核戦争が引き起こした激烈な現実をじかに見るよう強く求める。私自身、平和記念式典に出席のため訪問する。そこで私は、軍縮の課題を前進させるため緊急の措置を訴える。各国政府が、もはや核兵器のない世界を求める国民の意思にこたえる以外にないという日に向かって努力しよう。

教職員の反核・平和の願い 原水爆禁止世界大会へ

原水爆禁止 2010年世界大会

教職員平和のつどい in広島

日時: 8月5日(木) 17:00~19:30
 場所: 広島ロードビル 広島市東区東区から南へ約
 参加費 1500円(飲み物、お好み焼きなど)

プログラム

- ① アメリカと広島の平和教育から学ぶ
 キム・アレン先生(ニューヨーク)
 「原爆の実相を学び考える子どもたち」
- ② 海外代表(教員関係者)のあいさつ
 ドイツ、ノルウェーから(予定)
- ③ 総括・交流
- ④ 大会参加の感想やとりくみの交流

今年も教員の海外代表が参加し交流します。青年の参加を

教職員平和のつどいでは、各地の取り組みやNPT行動、世界大会の感想を交流し、平和教育実践を学習します。特に、今年も、各国から教員が参加し交流を深めます。キム・アレン先生は、ニューヨークのセントローレンススクールで原爆の被害を子どもたちに伝え、自分たちに何が出来るかを考えようとする実践している中学校の先生です。卒業生とともに参加し、初めて原水爆禁止世界大会に参加します。世界大会に参加するドイツ・ノルウェーの教員、教員関係者にも参加を呼びかけています。

また今年では、ドイツと全教広島市の皆さんが協力によりおこなった原爆被害者などを顕彰する大会にも参加します。皆さんは是非多くご参加ください。特に、青年の参加を是非もっています。

主催: 全日本教職員組合、教組共闘
 東京部〒104-8121 東京都中央区
 世田谷区文化会館
 TEL 03-5211-0123
 FAX 03-5211-0124